

## 第2回木更津市立小学校及び中学校通学区域審議会会議録

○開催日時：平成24年8月28日（火）

午後2時00分から午後4時30分まで

○開催場所：木更津市役所6階委員会室

○出席者氏名

審議会委員：丸橋唯郎、齋藤勇、林伸子、吉田公、井菅清志、一戸祐人、  
地曳謹司、鈴木利典、坂井真貴子、多田元樹、平野千津子、  
鈴木節子

教育委員会：本多教育部次長

（学校教育課）廣部参事、田中副課長、米澤主幹、石渡副主幹、  
鶴岡主査

（施設課）宮澤課長、平野副主幹

○議題等及び公開非公開の別

議事 (1)（仮称）真舟小学校 通学区域素案について：公開

(2)現地確認：公開

(3)その他：公開

○傍聴者 0人

○議事等概要

委員長あいさつ

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、またお暑いなか、通学区域審議会にご出席いただきありがとうございます。

本日は、（仮称）真舟小学校の新設に伴う通学区域の素案を事務局から示されましたので、これをもとに説明を受け、現地確認のうえご意見を伺います。

委員の皆様には、忌憚のないご意見をお聞かせいただき、また、本日の審議につきましてご協力をお願いいたしまして、私の挨拶といたします。

議事(1)（仮称）真舟小学校 通学区域素案について

（事務局説明概要）

## 廣部参事

(仮称)真舟小学校の新設に伴います、小学校及び中学校の学区の素案についてご説明いたします。

はじめに(仮称)真舟小学校の学区ですが、素案を2つ考えております。2つの素案を考えさせていただいた理由としましては、前回の審議会でも話題になりました請西千束台土地区画整理組合区域の区切り方について判断に苦慮したためです。

(仮称)真舟小学校の素案1としましては、まず、真舟1丁目から5丁目、これは、真舟地区全区域になります。それから請西南1丁目～5丁目、これは、請西南地区全区域になります。それから、請西東6丁目から8丁目、これは、将来開通が計画されております草敷・潮見線以南の請西東地区になります。

請西6丁目から8丁目は、(仮称)真舟小学校の方が通学距離が近く、加えて、草敷・潮見線が将来的には片側2車線の幹線道路となり、交通量がかなり増えることが想定され、児童が横断するのに危険が伴うのではないかと考えるからです。

それから、請西千束台土地区画整理組合区域全域及び東側旧道の南側です。

素案2としましては、真舟、請西南、請西東につきましては素案1と同様で、請西千束台土地区画整理組合区域のみ、草敷・潮見線で区切り、その南側を(仮称)真舟小とするものです。

現在千束台に入る道路は許可無くは通れませんが、都市整備部の予定としては、5年以内には現在あるところまでは通れるようになるとのことです。都市整備部によると、トンネルの上は住居は建たず、緑地帯のようなかたちにしたいとのことですので、区域としては分けられるものと考えます。千束台地域には、将来的には計画人口が2,200人ということを考慮しますと、(仮称)真舟小学校に入りきれるかという懸念が出てきますので、千束台地域を区切り、草敷・潮見線の北が請西小で南が(仮称)真舟小としてはどうかという案です。

続いて、請西小学校ですが、素案1では、請西1丁目から4丁目、請西東1丁目から5丁目、請西(1)のうち(仮称)真舟小学校区以外、更には、請西(2)請西(3)となります。

素案2では、請西地区、請西東地区は同様ですが、請西千束台土地区画整理組合区域のみ、草敷・潮見線で区切り、その北側を請西小学区にするというものです。

清見台小学校につきましては変更ございません。

木更津第二小学校は、真舟地区が現在通学していますが、国道を渡るこ

とが危険ということもあり、真舟1丁目から5丁目、真舟地区全域を（仮称）真舟小学校に変更するという案です。

続いて、中学校ですが、請西南地区の子どもたちが非常に増えていることにより、将来、木更津第二中学校の生徒数が増えることが予想されますので、請西東地区で、現在木更津第二中学校区となっております請西東1丁目、2丁目、4丁目を太田中学校区に変更するという案です。

中学校の学区変更につきましては、（仮称）真舟小学校の6年生が卒業になります平成27年度からを考えております。

ただし、きょうだい関係で同じ学校に通いたいなど、様々な理由でもとの学校に通いたいという場合には、一定期間を設けて区域外就学を認めていきたいと考えています。

以上の学区になった場合の学級数についてご説明します。

（仮称）真舟小につきましては、現在の住民基本台帳による推計ですと、平成30年度で754名を想定しております。学級数は、現在は小学校1・2年生が35人学級が可能、3年生から6年生が38人学級が可能ということになっていますので、それで計算しますと普通学級が25学級となります。教室数をみますと、特別支援学級を3学級用意してあり、普通学級として使用可能な教室は27学級ありますので、あと2教室余裕があるという状況です。

請西小学校につきましては、平成30年度で517名で18学級を想定しております。現在特別支援学級が3学級ありますので、特別支援学級を3学級としますと、平成30年度は合計21学級となります。

また、中学校では、同じく平成30年度で、太田中学校が552名で17学級、木更津二中が603名で18学級、2校がほぼ同規模になると想定されます。

（質疑応答）

吉田委員 5年後までには今ある道路まで開通する予定とのことですが、その先についてはどうなのでしょう。伝え聞く話によれば、里山の問題が残っているとのこと、この辺りの見通しによってずいぶん状況が変わってくると思うのですが。

廣部参事 都市整備部に確認しましたが、ライフラインもまだ整備されておらず、ここ数年の間に何十戸、何百戸建つというのは考えにくいとのことでした。

丸橋委員長 請西小学校は築何年くらいですか。

宮澤課長 請西小学校は、昭和54年3月に建てた校舎が一番古く、その後昭和56年と平成3年に増築しています。平成15年3月に鉄骨造の2階建ての校舎を建てていますので、一番古い校舎で築33年くらいです。

丸橋委員長 改築の計画はあるのですか。

宮澤課長 平成3年と平成15年に建てた校舎については、今のところ改修の予定はありません。昭和54年、56年のものについては、耐震診断の結果若干耐震性能が文部科学省が目標としている0.7に若干及ばず、具体的には0.68と0.59となっています。こちらについては現在設計中で、工事は早ければ25年度に着手したいのですが、今の請西小の状況では、子どもたちが多いので、26年度にならないと難しいのではないかと考えています。いずれにしても27年度までには耐震補強工事に併せてある程度の改修工事を実施する予定です。

丸橋委員長 安全性についての対応は大丈夫ということですが、新設校とあまり差があると、不公平感が出てトラブルのもとになるのではないかと考えますので、その辺も考慮いただければと思います。

## 議事(2)現地確認

ルート：市役所⇒請西千束台土地区画整理組合⇒（仮称）真舟小学校建設地⇒（請西南～請西東経由）⇒請西小学校⇒木更津第二小学校⇒市役所

## 議事(3)通学区域素案について意見交換

### （意見概要）

鈴木利典委員 私はこの学区に住んではいないため、おおまかなことは分かるのですが、細かいところは分からないので、実際素案に該当する学校や保護者の方々の案に対するご意見を聞いて参考にさせていただければと思うのですが。

廣部参事 これからの流れですが、こちらの審議会で年内に答申をいただきまして、その後パブリックコメントというかたちで市民の皆さんに公開させていただいて意見聴取をしたうえで、年度内には基本方針を決めていきたいという予定です。

丸橋委員長 具体的にはどうかたちで意見聴取をするのですか。

廣部参事 木更津市の広報紙ならびにホームページというかたちになるかと思えます。

通学区域については、素案は一切外に出していませんので、この審議会でも審議を十分にさせていただいて答申をしていただいた後に、表に出していく

という予定です。

鈴木節子委員 通学区域を変更したときに、地域住民の方と話し合いの場をもった記憶があるのですが、今回の場合、審議会答申を出し、パブリックコメントをした後で、素案の1と2がかかってくる千束台地域の方や、地域の方々と話し合いをする機会はあるのですか。

廣部参事 説明会というかたちでさせていただくことはもちろんです。千束台地域については現在住民の方がいらっしゃいませんので意見をいただきようがないと思っておりますが、井菅委員に聞きましたら地域境に何件かあるというお話でしたので、そちらの方については現在でも認めている学区外就学というかたちで対応できるかと考えています。

鈴木節子委員 境目になる地域に関しては話し合いの機会を持つということですね。

廣部参事 はい。

井菅委員 請西の自治会長をしております。今回の案ですと、素案1・2とも千束台がキーポイントになりまして、ここの取扱いが私ども自治会としても難しいところですが、現状では更地ですが、すでに新規のところへ3件ほど入っていますし、その上に昔からの1件があります。既存の真舟からの通学路が途中で分断されるということもありまして、答申が終わってから広く市民の皆さんに意見を聞くということですが、素案がある程度できている段階で、自治会内の各班長に意見を聞いてもよいものなら聞いてみたいと思います。あくまでも答申が決まらなければ社会にお示しできないということであれば結構ですが。

廣部参事 答申前に意見を聞くということになると、意見が大きく割れたときに答申を出しづらくなってしまう虞がありますので、基本的にはまず答申を出していただいて、その後市民の方のご意見を聴くという流れでお願いしたいと考えています。

丸橋委員長 たとえば町内会のレベルで、プライベートでお話するということが構わないでしょうか。

廣部参事 原則的な考え方としましては、審議会ですので答申までは部外秘というかたちでお願いできればと考えています。

井菅委員 最近行政当局である程度決めてから開示すると、地元が全然聞いていなかったということで反対の意見が多く出てくるという傾向もありますので、許されるなら、ある程度クッションの意味で反応を聞くのも悪くないのではと思います。

丸橋委員長 全然知らなかったというより、少しは情報が入っているほうがむしろ良いのではないかと貴重なご意見ですがいかがでしょうか。

一戸委員 同意見です。

坂井委員 この地区ではどんなふうに考えましょうかという相談をするという程度ですよね。

井菅委員 こういう素案があるけれどどうでしょうかと自治会で話をする感じです。

坂井委員 答申が最終決定ではないですよ。余計な心配をさせてしまってもいけないと思うのです。みんなの意見を聞くのは大事ですが、幾つも出てきてしまうと、かえってまとまらなくなってしまうのではないかなと思います。

本多次長 この会議は当初から公開ですので、傍聴人がいればその方は分かるということになっています。そうするとその方が家に帰ってお話をされるということはあると思いますので、大々的ではなく、普通の会話の中では話していただいても差し支えないと考えます。

丸橋委員長 すでに透明性は確保できているわけですよ。ということは、地域の方に少しずつ浸透させて、各地区の意見をまとめるのも私たちの仕事かもしれませんね。

廣部参事 原則としては答申後にパブコメで市民の方々のご意見を聴くという流れですが、この会議が公開という視点から言わせていただければ、こんな案が出ているけれどもという程度であれば構わないと思います。

丸橋委員長 各委員には、ご自身の地域の意見を酌みとってまとめておいて頂いて、この場で言うていただくのが良いと思います。

本多次長 まだ決定ではないということにご注意いただければよいと思います。

吉田委員 真舟というところは、子どもはあっちの学校、こっちの学校と転々としてきました。勝手に学校を指定してそっちに行けと言われるという、父兄の声がよく聞かれました。ですから、住民に意見を聴くことにあまり積極的ではないのであれば、その後のフォローはどうしますかということになります。もっと自治会に任せてもらえれば、自治会等は月に1回や2回会議がありますので、その席で説明して意見を聴いても差し支えないのではないかと思います。そうすれば、勝手に決めているということをお知らせせずに済むかなと思います。

丸橋委員長 各地区で、機会があるごとに意見を聴いて、次回会議で発表してもらうのが良いと思います。

多田委員 事務局で示された素案については、現場説明を含めてよく検討された素案だと思いますけれども、これを仮に地域住民の方にお示しした場合に、大きく問題点として指摘されるようなところはあるのでしょうか。

吉田委員 真舟につきましては、学区については恐らくないでしょう。

学校周辺を一方通行にしてほしいとか、街灯をつけてほしいとかそういう意見は出るかもしれませんが。

井菅委員 請西は千束台の新しいところにこれから住む方は問題ないと思いますが、既存の住民が真舟に行くのか請西に行くのかによって違ってくると思います。従来からの付き合いで旧部落の人たちとともに日常生活を送りたいということであれば、請西に行きたいというでしょうし、既に千束台の区画整理の中にも旧住民が入っているので、こちらは真舟にということになるでしょうから、こういう審議をしていることを伝えるくらいはしておかないと、自治会長は何をやっていたのかと言われかねません。

- 一戸委員 請西東は、学区割りは全て二中だったのが、太田中と二中に半分に分かれたときに、ギクシャクした経緯が無いとは言えないです。
- 二中に行きたくてこの地域に引越してきたのに太田中になるなら引越すという声まで聞かれたりしたので、新しい学校ができたら急に学区を切るのではなく、そういう計画があるということをあらかじめやんわりと話をしていって、段階的に自治会内でも回覧等でしていけば、反応は急に決まったというさきほどの印象からは和らぐのではないかという感じがします。
- そういう配慮が必要なのかなと思います。
- 地曳委員 東太田の区域の関係ですが、素案を見ますと、清見台小学校は現状どおりで変更はないようですので、その点は地元の住民も異議はないのではないかと考えています。
- 太田中学校は、多小変更があるのですか。
- 廣部参事 (仮称)真舟小学校の児童が卒業する段階で、木更津第二中学校の生徒数をみますと、かなり多くなると推計されます。そこで現在二中学区の請西東1丁目・2丁目・4丁目を、27年度から太田中学区とする案を出させていただいています。もちろん兄弟等は考慮しながら、柔軟に学区外就学の許可を出させていたく対応をしていきたいと考えています。
- 多田委員 素案の1と2に関して、現地に行く前は草敷潮見線で分けたほうがすっきりするのかなと思っていたのですが、実際に見てみますと、千束台は地域を一つとして真舟の小学校としたほうが、住民の方たちの感情からすると良いのかなという気がしました。
- 林委員 井菅委員から請西については前から住んでいらっしゃる方がいるとお聞きしましたので、学区割りについてはその方々のご意見を聴くのが良いのかなと思います。それと、草敷潮見線が将来的にできるので、そこを低学年の子どもたちが渡ることについて配慮が必要になるだろうと思います。
- 丸橋委員長 皆さんやはり地元でまず意見交換をしたほうがよいのではないかということですね。
- 平野委員 千束台地域から、真舟の小学校に通うには、トンネルを通らなくても通えるようになるのでしょうか。
- 井菅委員 霊園の脇を通る道があります。昔真舟から請西小学校に通っていた通学路です。今はだいぶ樹木が生い茂っていて、環境が良いとは言えませんが。
- 廣部参事 千束台の開発に伴って、道は何本か通ると思いますが、市街地整備課の話では、まだそういった事業計画はないとのこと。かつて真舟の子達が請西小に通うときに使っていた道が(仮称)真舟小の通学路になるということになれば、当然整備もしなければならぬと思います。
- 鈴木節子委員 千束台地域は、一くくりで地番が決定しているということですか。将来的に、草敷潮見線ができて、その道路を境にして地番が分かれるのであれば、学区を分けても自治会としては問題はないのかなと思います。

齋藤委員 あくまでも千束台区画整理組合というだけで、今の段階では住居表示がどのようになるかは分からないでしょう。

一戸委員 請西東地区が、今言われたような経緯を踏んでいるという感じがします。地域がまるごと学区が変わるのではなくて、一つの自治会が半分に今大きな通りで切られています。二中学区であったのが、半分太田中学区になり、更に今後は太田中学区に変えていきたいという方向性ですので、学校がパンクしそうなので段階的に変えていきますというふうに、市のほうから重々うまく話をしていかないと、こんなはずではなかったという住民の方が出てきます。

さきほどの千束台のところも、住宅の張り付き具合を見てということにしていると、同じようなことになってしまう気がするので、最初から道路で学区を区切ると決めておいて、それを承知で入ってくるというほうが良いのかなと思います。

学区が変わるにしても、住民周知の仕方が一番大事なのかなと思います。

先ほど希望される方がいれば学区外を受けていただけるという話もありましたので、それも父兄側としては相談すればある程度柔軟に受け取っていただけるのであれば、受け止め方が違うと思います。

齋藤委員 各自治会の代表として委員になっている方の気持ちはよく分かります。私どもこの審議委員になるにあたっては、条例で教育委員会の諮問に応じて審議し答申をするというふうになってはいますが、各自治会の代表の皆さんは、それぞれの立場もあると思いますので、地域の意見を聴いてということもよいかと思います。

また、千束台の区画整理が完成していない状況がありまして、このへんが懸案ですけれども、次回よく話し合えば、あとはそれぞれの学校の人数も配慮されて大変妥当な案がでていないかなと感じています。

丸橋委員長 それでは、地域で少しずつ意見聴取して次回まとめてくることにしたいと思います。

私は大学に勤めていますが、うるさいということで近所からものすごく苦情が多く、毎日のように対応しています。ですから近所の方には特に、十分な説明が必要だと思います。

また、今日現地を見て、なだらかな坂だけれど、子どもにとっては相当きついのではないかと感じましたので、なにか方法があればなと思いました。景色はいいけれども、その反面デメリットとして坂の問題を感じました。

それから、きれいな学校をみんなに使っていただくという方向で、そうすれば地元の方とのトラブルも減ると思います。

廣部参事 自治会の方々が地元でご意見をいただくときに資料が必要であれば、お届



けします。

宮澤課長 井管委員からお話がありました都市計画道路草敷潮見線と昔の真舟から請西小学校への通学路は、今のところ立体交差の予定のようです。橋になるのか、トンネルになるのかは分かりませんが。

また、仮称真舟小学校の設計を進めておりました、ほぼ設計が終わりに近づいてきています。今日二階建ての校舎でということの説明させていただいたのですが、4月7日に請西小学校で開催した説明会で平屋建て案と二階建て案を示させていただいて、160名くらいがお集まりいただいたなかで、二階建てにしようということになりまして、二階建てで設計を進めています。10月6日土曜日に、請西小学校の体育館で午後6時から設計の内容についての説明会を行う予定です。これについては9月1日の広報きさらづ、木更津市ホームページ、真舟と請西東の自治会の方は回覧で見させていただいて、請西南地区は自治会が組織されていませんので、回覧とかたちがとれないため、学校の敷地から100メートルくらいの範囲で個別投げ込みで案内をさせていただく予定です。

その際、基本的に建物の設計についての説明なのですが、4月の説明会でも通学区域の話がされていましたので、ある程度のところはその時点で説明できる範囲で説明するようになると思います。

田中副課長 次回の会議は、10月の下旬を予定しております。

丸橋議長 以上をもちまして、本日の議題はすべて終了しました。

次回の審議会は、審議スケジュールのとおり、10月中に開催したいと思っております。おって文書でご案内をいたします。

本日は、お疲れさまでした。

以 上

上記会議録を証するため下記署名する。

平成24年10月23日

木更津市立小学校及び中学校通学区域審議会会長 丸橋 唯郎